

科名 呼吸器内科  
 対象疾患名 非小細胞肺癌  
 プロトコール名 テセントリク+PTX+CBDCA+BEV

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1 ... 8 ... 15 ... 21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓
2	点滴注	側管	テセントリク	1200mg/body	医師の指示通り	↓
			生食	250mL	専用ルートJY-PF340P52使用 投与前後生食フラッシュ	
3	点滴注	側管	ベバシズマブ	15mg/kg	医師の指示通り	↓
			生食	100mL		
4	点滴注	側管	アロキシ	0.75mg	30分かけて	↓
			デキサート	19.8mg		
			ファモチジン	20mg		
5	点滴注	側管	ネオレストール	10mg	30分かけて	↓
			生食	50mL		
6	点滴注	側管	パクリタキセル	175mg/m <sup>2</sup>	3時間以上かけて 専用ルート使用 ※壊死性抗がん剤	↓
			生食	500mL		
7	点滴注	側管	カルボプラチン	AUC6	60分かけて	↓
			生食	250mL		

★1クール＝21日

#### ～MEMO～

推奨レベル3(30%～90%)

day2～3にデキサゾン錠を朝、昼食後に4mg/回

4コース又は6コースまで

＜テセントリク＞

投与速度:初回60分,忍容性良好であれば2回目以降30分まで短縮可

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害  
 infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

＜ベバシズマブ＞

創傷治癒遅延の作用により術後28日以内の投与不可

投与速度:初回90分,忍容性良好であれば60分,30分まで短縮可

＜パクリタキセル＞

禁忌:薬剤アレルギーの既往の多い症例,アルコール含有,アルコールアレルギーの確認要  
 アレルギー好発時期:初回2回目(投与開始から10分間はベッドサイドを離れない)